

第4号議案 2016年度事業計画案

1. 法人の運営に関する事項

(1) 通常総会の開催

日時、場所:2016年5月30日(月) 17:00～ 市民の力わかやま 事務所にて。

(2) 理事会の開催

理事会を随時、開催する。

(3) 事務局業務について

引き続き、和歌山市橋丁の事務所にて事務局業務を行い、必要時に事務局会議を開催する。週に1回、事務局スタッフの定例会議を開催し、効率よく業務を遂行できるようにする。

2. 事業に関する事項

(1) インターネットを利用した各種講座や現地スクーリング講座の運営支援事業(市民塾事業)

① わかやまインターネット市民塾事業(自主事業)

A) わかやまインターネット市民塾講座、スクーリング

市民の力わかやまが法人設立当初より管理運営しているわかやまインターネット市民塾を引き続き自主事業として継続する。

今年度は、市民塾の仕組みを見直し、より使いやすいシステムを再構築することを検討する予定である。

B) きのくに県民カレッジ

引き続き今年度も市民塾の一部の講座を「きのくに県民カレッジ」に登録する。

(2) まちづくりの推進、伝統文化芸術等の普及・継承を目的としたイベントなど種々の事業

① 遊休不動産再生活用推進事業

「遊休不動産再生活用推進事業」は、「まちなか」に多数存在する遊休不動産をリノベーションという手法によって、魅力ある姿に再生活用し、さらに産官学民が協力して継続性のある魅力的な事業に育ててゆくことにより、まちなかで「雇用が確保できる事業」として確立することを目指すものである。(6月～3月、和歌山市商工振興課事業)

今年度は、前年度に引き続き、リノベーションスクールの実施(11月に3日間)によって、リノベーション手法の有効性を研究、確認していくことを通じて、まちなかエリアの価値向上に寄与する人材を育成するとともに、リノベーションによって、「まちなか再生」に対する興味を喚起し、賛同する遊休不動産オーナーの発掘に努めていくこととする。

② わかやまイベントボード事業(自主事業)

前年度に引き続き「わかやまイベントボード」を自主事業として管理・運営を行う。さらに他の事業との連携を進める。サイトの改善、主催者登録団体・アクセス数など増加するようにする。

またイベントボードサイトに広告等を掲載することにより管理・運営費用を捻出できるよう努力する。またサーバー更新を含めたシステムリニューアルを検討する。

③ 景観まちづくり推進事業(自主事業)

前年度に引き続き「景観まちづくりの推進」事業を自主事業として継続する。

今年度は、

・情報発信サイト「きのくに風景讃歌」のコンテンツ充実

i. みどころ紀州路、アーカイブ等の充実

ii. ふるさとフォトグラファーの増加

等を実施する予定である。また、以前より自主事業として実施している「日本風景街道熊野ホームページ作成事業」は、コンテンツの追加等の作業は行わない予定である。

(3) 教育の機会が失われている住民への教育機会の提供及び教育環境の改善事業

① IT 普及事業(自主事業)

前年度に引き続き、以下の IT 普及事業を自主事業として継続実施する。具体的には以下のような IT 講習等を実施する。

・チャレンジ塾:毎週水曜日に 3 コマ(1コマ 80 分)を実施(通年)

・きのくにふれあい学習研究会のメンバーとして「IT はじめの一步講座」(初心者向けの少人数 IT 講習会)を月 2 程度実施。(場所:文化情報センター)(通年)

② 子どもゆめ基金事業(自主事業)

公益財団法人学習ソフトウェア情報研究センターと協力して、「子どもゆめ基金」(独立行政法人国立青少年教育振興機構の助成対象活動)のうち「子どもの体験活動の振興を図る活動への助成」へ以下の内容で応募する予定である。

・紀の川流域文化遺産活用地域活性化協議会が前年度作成したガイドブックを活用して、高校生などを対象としたウォークを通じた自然体験活動

(4) その他この法人の目的を達するために必要な事業

① テレワーク事業(自主事業)

前年度に引き続き、テレワーク事業をさらに継続、発展させる。多くの企業等からの受注を目指すとともに、テレワーカー発掘・養成しそのネットワーク構築を目指す。

② 医療情報関係事業

「NPO 法人和歌山地域医療情報ネットワーク協議会」(略称 Wamina)とともに医療情報関係事業等

を継続実施する予定である。

③ WIDA 事業

前年度に引き続き、和歌山県情報化推進協議会（略称 WIDA）の事務局業務を担い、協議会の活性化を図ることにより、和歌山県の情報化推進に協力する。（通年）

事務局としては前年度と同様の WIDA の活動を事務局としてサポートする。

④ HP 作成等事業

前年度に引き続き、依頼があれば、他の団体等の HP 作成等業務を実施する。

⑤ その他事業

・前年度に引き続き、大人大学推進協議会（和歌山大学、紀陽銀行、和歌山リビング新聞社）主催の「大人大学」に協力する予定である。

・NPO 等支援事業（自主事業）

NPO 法人、ボランティア団体、市民のかわかやま正会員、その他必要とする個人・団体の方々などに活用していただけるよう、市民のかわかやまが所有する ICT 機器、音響機器、通信機器などを貸し出しする仕組みをさらに充実させる。

⑥ その他

（ア）他の市民塾との連携

「NPO 法人地域学習プラットフォーム研究会」の一員として、他の市民塾グループとの連携、交流を図る。

参考：地域学習プラットフォーム研究会：<http://shiminjuku.org/>

（イ）他の NPO 法人や地域活動団体等との交流・連携・支援

引き続き、県内各地の NPO 法人や地域活動団体等との交流・連携を図る。

（ウ）市民のかわかやまサイトの運営

引き続き、市民のかわかやまのサイトを維持管理する。

参考：市民のかわかやま：<http://shimin.or.jp/>

以上